

歯医者さんの学校訪問

中野先生という歯医者さん(前号にも登場しています)が小学校に1週間訪問し、子ども達の虫歯治りようをしました。10年前、パラオの小学生の虫歯スコア(永久歯が何本虫歯になっているかの平均)が4だったのに、今は1になっているそうです。



つまり、子ども達がちゃんと歯をみがくようになったということです。中野先生はずっと歯をみがくことの大切さをパラオ人にうたえ続けています。金曜日の最後には、子ども達に歯の正しいみがき方を教えていました。当たり前のことですが、結局、自分の歯を守れるのは自分しかいません。

パラオだより

第20号

合気道を教えました



筒井先生は大学生の時、合気道を習っていました。卒業した後はずっとやっていなかったのですが、1月にJICAの合気道の隊員(鈴木さん)がパラオに来られたので、二人で合気道教室をアルモノグイ小学校でおこなうことにしました。ちなみに鈴木さんはパラオのけいさつに合気道を教えに来られました。



合気道は勝ち負けのない武道です。おそわれた時にどうやって自分の身を守るかを学びます。筒井先生は剣道着を着て、鈴木先生といっしょに子ども達の前に立ちました。まずは、合気道の組手をひろうしました。筒井先生のこうげきを鈴木先生が上手にかわしていきます。子ども達は大喜びでした。

続いて、子ども達にも合気道を体験してもらいました。むなぐらをつかまれた時・片手をつかまれた時・後ろからだきつかれた時、どうやったらにげられるのかを教えました。合気道は力ではなく、体のしくみを使う武道です。かんたんにできることを知って子ども達はびっくりしていました。



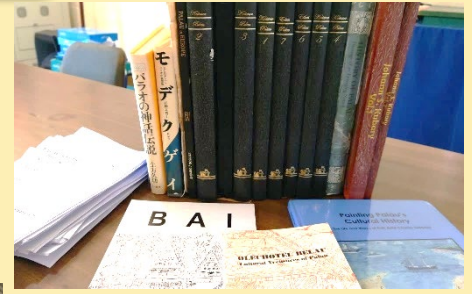
最後に、合気道を習ってみたい人と子ども達にたずねるとたくさんの手があがりました。いつかパラオでも合気道が広がるといいですね。子ども達のそんな様子を見ながら鈴木先生はにっこりしていました。鈴木先生の活動はまだ始まったばかりですが、うまくいきそうな未来が見えました。



パラオ文化の勉強ラストスパート

筒井先生は、パラオの古代文化を勉強し続けています。→の写真のようちちらでたくさんの本を買って読んだり、それでもわからないことをパラオ人にきいたりしました。古代のパラオ文化はとてもミステリアスで面白いです。おそらく今までのパラオ隊員の中で一番くわしくなったのではないのでしょうか。

地域と文化



昔のパラオ人が当時の生活の様子をかいた絵を見るのにはまっています。左の写真はガラード州にある集会場の柱にかかれた絵です。日本と同じで、外国人がてっぽうを伝えたことから、戦争の様子が全く違うものになってしまったことがよくわかる絵です。

